

パサリ氏のこと（四）

愛甲次郎

テレビの現地生産の採算は部品のコストに大きく依存するところ閉鎖経済時代の部品
關稅は餘りに高く、テレビ事業部の強き要請は稅率の半減なりき。余の要求を受けて次
官は直ちに検討に入り、併行して官僚に對する會社側の説明を指示す。九三年の夏なり
しが、次官、當方の意向に沿ひ來春の予算國會に關稅法改正を政府提案する予豫定な
れば、ソニーとして正式に投資申請を提出せられたしと言ふ。ソニー本社に特に異存は
なく、手續きは進められたり。テレビ事業部の工場設立候補地は、デリー近郊、マドラ
ス（後にチエンナイと改名）、ボンベイ（後にムンバイと改名）周邊の三箇所なりき。ハ
リヤナ、タミルナド、マハラシュトラの關係各州政府との接觸を含め現地調査にはパサ
リ氏の筆舌に盡くし難き協力ありけり。紆餘曲折の末デリーより車にて一時間餘り離れ
たるハリヤナ州のグルガオに中小規模の工場を買収、その改修と設備の据付に取掛かり
しは秋も深まりたる頃なり。キーパーツはシンガポールより送り、カルカッタに揚げ、
後は長距離陸送によるべきところ、性能微妙なる部品の劣悪なる道路條件に耐へ得るか、
途中州境の稅關事情如何なるか。國內の電氣製品メーカーに他の部品調達を依存し得る
か否か。調査すべきこと枚擧に違なし。デリー、グルガオ間の道路、地圖上は幹線道路
なるも舗裝は不十分にして、路肩に事故トラックの殘骸放置せらるる様は、曾てシルク
ロードのほとりの駱駝の死骸もかくやとばかり思はる。グルガオとデリーの間に電話
サービス未だ存せざれば、連絡は無線機に依る他なかりき。

パサリ氏これらの作業に多大の關心を寄せ、小生の出張にも能ふ限り付合ふ。鏗一文
の報酬も經費も要求することなし。盛田會長の連れ來たれと言ひし神の如きとは當にパ
サリ氏なりき。

インド北方に廣く行はるるはヒンディー語なり。その會話體はパキスタンのウル
ドゥー語と共通にしてヒンドスター語と稱す。余これを獨習す。またインドの歴史を
讀み漁り、インド人の姓よりその出身州とカストを判ずるを習ひ、地方の習俗に通ずる
に至る。これ全てについてパサリ氏が師たり。

（平成二十七年六月十二日受附）